

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

## 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしゃ なちゅらるだんすてあとる		団体ウェブサイトURL	
	株式会社 ナチュラルダンスシアトル		https://www.naturaldancetheatre.com	
代表者職・氏名	代表取締役社長・中村伸二			
制作団体所在地	〒	167-0051	最寄り駅(バス停)	井の頭線 高井戸駅
	東京都杉並区荻窪1-11-12			
電話番号	03-3391-2353			
ふりがな 公演団体名	なちゅらるだんすてあとる		団体ウェブサイトURL	
	ナチュラルダンスシアトル		https://www.naturaldancetheatre.com	
代表者職・氏名	代表・中村しんじ			
公演団体所在地	〒	167-0051	最寄り駅(バス停)	井の頭線 高井戸駅
	東京都杉並区荻窪1-11-12			
制作団体 設立年月	2012年 8月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役社長・中村伸二 取締役副社長・中村眞子		30名(正団員20名・準団員10名) 2種舞踊法と指導法を修得し、舞踊芸術の事業開発に同働できる者	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く		本事業担当者名	久保田広美
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理責任者名	丸山良尚 (丸山良尚税理士事務所)

制作団体沿革	<p>本団体代表取締役、演出家、振付家、舞踊家の中村伸二(芸名 中村しんじ)が、1981年に渡欧、ベルギー国立舞踊学校ムードラ、ロンソブルバレエ団等でダンサーとして7年間の活動を経て帰国後、1991年に「ナチュラルダンスシアトル」を設立。98'『ありす』(音楽新聞社「'98私が選んだ邦人作品ベスト3」第1位)、00'『ピノキオ』、03'『東京ダンスホール』、06'、08'『さーかす』等、新作を上演(新国立劇場)。作品『ありす』は、02'～06' 社団法人現代舞踊協会公演として5年間に渡り全国を巡演(文化庁)、03' デンマーク国際演劇舞踊フェスティバル、08' ジェイコブズピロー・ダンス・フェスティバル。作品『さーかす』は、05' 新進芸術家公演事業として国内 3 都市を巡演、08' アメリカン・ダンス・フェスティバル、09' ドイツ 4 都市を巡演。18'(8月)に韓国招聘公演(ソナム・アート・センター)。中村伸二は、06' 芸術選奨文部科学大臣賞受賞。本団体の主要芸術家、振付家、舞踊家の川野眞子は、03'(財)松山バレエ団芸術奨励賞、05' 新進芸術家公演事業として『さーかす』を振付・主演、同年(社)東京新聞社中川鋭之助受賞。舞台芸術の魅力発信と幅広い公益事業に対応するためのプログラム開発にも挑戦し続け、12' 株式会社ナチュラルダンスシアトルとして法人化。実践的な芸術家の育成、次世代を担う芸術家の創作活動支援に力を入れる。</p> <p>【直近の自主公演事業】</p> <p>2016年度(5月) 25周年公演『HITONAMI』～いとなみ～/座・高円寺</p> <p>2017年度(3月4月) 公演『どろろ』/座・高円寺</p> <p>2018年(7月)新次元ダンスエンターテインメント『ねむり姫』/文化総合センター大和田 さくらホール</p> <p>2020年(8月9月)公演『イソップ物語』/座・高円寺(中止) ※トライアルオンライン配信に代替措置</p> <p>2021年(11月)SDGsあした天気にな～れプロジェクト ※オンラインPV制作</p> <p>2022年(9月)SDGsあした天気にな～れプロジェクト公演『ひるえかにもどこへ』/北沢タウンホール</p> <p>【委託事業】</p> <p>2005年 新進芸術家公演事業公演</p> <p>2008～09年 芸術の魅力発見事業</p> <p>2008～21年 本物の舞台芸術体験事業、子どものための優れた舞台芸術体験事業、次代を担う子どもの文化芸術体験事業、文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－、文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－等の文化庁事業。</p> <p>2019年(10月)(公社)神奈川県芸術舞踊協会アートダンスカナガワ(神奈川県民ホール)</p> <p>【その他】</p> <p>2020年 東京都芸術活動支援事業「アートにエールを!」映像製作</p> <p>2022年(11月)世界のダンサーをつなぐポラリンピック-WISH FOR PEACE 2022- ※日本-ドバイ-ドイツ オンラインダンスコラボレーション(youtube配信)予定</p>		
学校等における公演実績	<p>&lt;直近10年の実績&gt;</p> <p>11' 兵庫県西宮市「ダンス甲東園」舞台公演(参加型)学生間交流(大学生)</p> <p>12'～13' 神奈川県青少年センター「ダンス講習会・鑑賞会」(高校生対象)</p> <p>13' 神奈川県横浜市立三保小学校「おはなしの木・読み聞かせとダンス」(小学生 保護者対象)</p> <p>14' 神奈川県立弥栄高等学校 ダンス授業の指導(高校生対象)</p> <p>16' 相模原市洋舞連盟青少年合同作品「芸術ってなんですか?」(小中高対象)</p> <p>山梨県立わかば支援学校 学芸発表教材提供(小学1～3年生対象)</p> <p>茨城県立霞ヶ浦豊学校 手話ダンスの指導(中学部対象)</p> <p>17' 神奈川県立大和高等学校 研修指導</p> <p>18' 鳥取県教育関係職員互助会 公益事業公演『さーかす』(小学校2校全校生対象)</p> <p>19' (3月～10月)ジュニア・ユース公演参加プロジェクト</p> <p>(東京,神奈川,千葉の小中学生・青少年対象:派遣ワークショップ/公演『ねむり姫』)</p>		
特別支援学校等における公演実績	<p>12' 栃木県立足利中央特別支援学校</p> <p>13' 富山県立しらとり支援学校</p> <p>14' 川崎市立中原養護学校</p> <p>15' 北海道帯広豊学校、北海道帯広盲学校</p> <p>16' 山梨県立わかば支援学校、茨城県立霞ヶ浦豊学校</p> <p>17' 広島県立庄原特別支援学校(知的障害部門・聴覚障害部門合同)、 広島県立尾道特別支援学校</p> <p>18' 熊本県立天草支援学校</p> <p>20' 宮崎県立みなみのかげ支援学校ワークショップ(本公演は中止)</p>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/qwUolyb-jEs">https://youtu.be/qwUolyb-jEs</a> <a href="https://youtu.be/07PkjWHaNs8">https://youtu.be/07PkjWHaNs8</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ナチュラルダンスアトル 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	『さーかす』 ～生きる力～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	タイトル：『さーかす』 構成・演出・振付：中村しんじ 振付：川野眞子 美術：宇野萬 初演：2005年 山口情報芸術センター <div>公演時間 60 分</div>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>作品『さーかす』は“物語”を“ダンス”で表現するエンターテインメント！～テーマは、生きる力～ 今の時代を生きる、物語の主人公“一郎”と、戦後の貧しい時代を生きた“昭和のサーカス団”との、時空を超えた出会い、心温まる交流、別れまでを描いた物語です。サーカスの団長、羽の生えたサーカス娘、個性豊かなサーカス団、「みんな違ってみんないい」。 人間の多様性を大きく包み込む壮大な世界観を学校全体で味わってください！ (ストーリー) 主人公の“一郎”は、自分のやりたいことが見つからないで毎日をぐだぐだと過ごしていました。 そんな一郎の前に“昭和のサーカス団”が現れます。戦後、今よりずっと貧しい時代を生きた“昭和のサーカス団”が、“一郎”の心に〈生きる力〉を吹き込みます。“一郎”が、たくましく成長していく姿に誰もが共感できる内容です。 (創作意図) 「昭和のサーカス団」を登場させることによって「前向きに生きる大切さ」を形に表し、今を生きる人々にエールを贈る作品を創りたいと思いました。そこから時空を超えたスケールの、人間交流の構想が生まれました。 「違っていい」人間の多様性にスポットを当てた作品の創意を、今を生きるすべての人に届けます。</p>		
演目選択理由	<p>『さーかす』だけにしかできない舞台芸術の迫力と感動を！ 本作品では、学校の体育館に大掛かりな仕掛けの舞台美術(テント)を吊って、6年間に渡りすべての学校で、テントを操ることに成功しました。見事な劇場空間を目の当たりにした子供たちの期待感はマックスに高まります。子供たちや先生たちからも「本物の劇場が目の前に現れた!」という驚きと感動の声を沢山頂きました。完成されたセットで繰り広げる総合的な舞台芸術の迫力と感動をより多くの子供たちに届けたいと願い選択しました。</p> <p>1) 見どころの多い作品性～子供たちの好奇心を刺激し、最後まで集中して見られる～ 2) 親しみのある鑑賞形態～主人公の気持ちに寄り添ってありのままの反応で楽しめる～ 3) 舞踊・ダンス公演の鑑賞を支援する5つのきらめきポイント ～ダンサー、衣裳やメイク、舞台美術(テント)、音楽性、物語～ ※上記詳細について「別添あり」</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>子供たちの舞台芸術体験を完全サポートする・ダンス・コミュニケーション! 本公演の中でどのように参加、どのような体験をするか紹介します。 1) 事前ワークショップで覚えたダンスを舞台上で披露 ▶代表児童・生徒に私たちの『さーかす』の一員となって踊ってもらいます。 2) 本公演で使用する映像に出演! ▶事前ワークショップの際に学校オリジナルの映像を製作、児童生徒のインタビューも収録。 3) 作品の中盤に先生が出演 ▶先生と舞台解説の川野眞子との掛け合いが、生徒の鑑賞能力を十分に引き上げます。 4) 地域で大切にしている文化を生かした演出 ▶地域で古くから大切にされている祭囃子などを演出に取り入れます。 5) プロの仕事に触れる・タネ明かし ▶照明家、音響家、舞台スタッフなど、プロフェッショナルの技を一部披露します。 ※上記詳細について「別添あり」</p>		
出演者	中村しんじ、川野眞子、ラビオリ土屋、蓬澤太士、戸田裕美子、佐々木由美、小松あすか、片山幸子、大和、岡悠奈、高橋千里 高橋裕太、篠子琴里、吉崎裕哉、国枝昌人 他、東京でのオーディションにより出演者を選抜し、計17名。		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 17 名 スタッフ: 19 名 合 計: 36 名	運搬	積載量: 4t及び3t 車 長: 6.5～8.5 m 台 数: 3 台



本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		5	時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	前日16時	前日16時～21時		11時～12時	0分	12時～15時	15時
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	0日	0日	0日	20日	21日		
	11月	12月	1月	計	94日		
	20日	16日	17日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安		20名(舞台上でダンスの発表をする生徒)		
			鑑賞人数目安		350名		

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



(写真上) 体育館フロアに舞台  
と客席を設置した状態（体育館  
を縦方向に使用）

◎舞台設置に必要な面積

横幅17m×縦幅10m

◎客席を含めた舞台設置に必要なフロア面積

横25m以上×縦35m以上が望ましい

(写真左)

「さーかす」上演の様子

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	350名
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>(内容) ペットボトルダンス・ワークショップ (対象) 全校生徒 (準備) ペットボトル(500ml)、1人1本、ペットボトルに水(3分の1)を入れる (進行) ①ダンサー実演→②ゲーム・身体ならし→③ダンス実践</p> <p>ペットボトルダンス・ワークショップは、全国で約5万人の子供たちが経験する優れたダンス・ワークショップです。言葉を越えたダンス・コミュニケーションを学校全体で体験してもらいます!</p> <p><b>★ペットボトルダンス・ワークショップの進行内容</b> ①ダンサーによるペットボトルダンス実演・自己紹介(5分) 実演することにより先に〈踊る内容〉や〈ペットボトルの使い方〉の見通しが分かり児童・生徒のモチベーションとやる気を引き出します。</p> <p>②小学生:ベルトコンベアー・ゲーム(10分)／中学生:ウォームアップ・体慣らし(10分) 小学生:ペットボトルを持った動きに慣れるための人気のゲームです。 中学生:全身の運動バランスを整える体幹メソッド、ペットボトルを用いて行います。</p> <p>③ペットボトルダンス(小学生30分/中学生35分) ペットボトルを用いて「バランスを取る」・「振る」・「回す」・「はさむ」など、簡単な動作から始まり、ダンサーの動きを見ながら真似して全身で踊れるようになります。ペットボトルに入った水の振動、感触が、助けとなってリズムを取りやすく、あつという間に音楽に合わせて踊れるようになります。 「ダンサーの真似をする」⇒「先生の真似をする」⇒「友だちの真似する」コミュニケーションを重視したユニークな進行内容です。最後にダンサーから簡単に公演のインフォメーションをします。</p> <p>◎事前ワークショップで覚えたダンスは本番で披露してもらいます。ワークショップの際にみんなの前で踊った児童・生徒を中心に、公演に出演する約20名の代表児童・生徒を先生との話し合いで決定します。 ◎本公演のフィナーレを飾る映像を撮影。事前ワークショップで活躍した児童生徒のインタビューの撮影も行います。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>▶<b>ダンス経験や予備知識がなくてもその場で誰でも参加できる</b> ペットボトルダンスは、プロダンサーが考案し、14年間の実践を通して改良を重ねて来ました。〈全員で踊りをマスターする達成感〉、〈全身を使って運動量を得られる〉運動とダンスを見事にブレンドした最高に楽しいワークショップです!</p> <p>▶<b>パフォーマンス力アップ</b> ペットボトルダンスによる最大の効果は、学校全体のパフォーマンス力の向上。専門的な指導員の直接指導により子供たちは抜群の集中力を発揮し、全身で表現出来るようになります。</p> <p>▶<b>体で感じる大切さ</b> ペットボトルを手具として使うことで、〈成功と失敗が分かりやすい〉、〈子供たちのやる気やチャレンジ精神を引き出す〉〈普段動かさない部分までしっかり体を使える〉、〈上手い下手を気にせず楽しめる〉など、ダンス学習の良いところを簡単に習得することが出来ます。</p> <p>▶<b>一緒に踊る喜びを共有</b> 共通の手具を持って踊る共用感、安心感が親しみやすく、〈ペットボトルを使って踊る発想力〉、〈コミュニケーションを重視したユニークな進行内容〉で、みんなで踊る解放的な時間を楽しんでもらいます。</p> <p>▶<b>子供たちが主役</b> ダンサーの実演を見る→体慣らし→動きを覚える→音楽に合わせる、少しずつステップアップしながら最終的にはしっかりとダンスを習得し、子供たちが主役になって成果発表するまでの内容を支援します。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>特別支援学校、聾学校、盲学校の実施では、事前に普通の授業の様子を見学にお伺いした上で、「ペットボトルダンス」を元に児童・生徒の様子に寄り添ったワークショップ内容を検討していきます。</p> <p>&lt;ナチュラルダンスステアトル 〇 ペットボトルダンスPV&gt;  <a href="https://youtu.be/xDxgZT5vWEc">https://youtu.be/xDxgZT5vWEc</a>            ナチュラルダンスステアトルのペットボトルダンスワークショップのプロモーションビデオです。実際に体験していただいた学校の先生方がワークショップも体験・観た感想もご覧いただけます。</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名	ナチュラルダンステアトル】
<p>【演目選択理由】</p> <p>【児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態】</p>	<p>【演目選択理由】</p> <p>1) 見どころの多い作品性～子供たちの好奇心を刺激し、最後まで集中して見られる～  ▶プロダンサーの身体表現力、大きな動く舞台美術(テント)、色鮮やかな照明が作る作品の世界観  照明家: 森 規幸(令和2年度 日本照明家協会大賞 文部科学大臣賞 受賞)</p> <p>2) 親しみのある鑑賞形態～主人公の気持ちに寄り添ってありのままの反応で楽しめる～  ▶舞台解説者と先生のかけあい、学校全体で作品に深く入りこめるよう支援します。</p> <p>3) 舞踊・ダンス公演の鑑賞を支援する5つのきらめきポイント  ▶ダンサー、衣裳やメイク、舞台美術(テント)、音楽性、物語</p> <p>Point ①▶ダンサー  子供たちにはプロダンサーのダンス・テクニックと豊かな表現力を目の当たりに「体で表現するって素晴らしい!」という手応えと実感をしっかりと獲得してもらいます。「踊っていないところも演技していてすごい!」という舞台の隅々まで見ている子供の視線に気を配り鑑賞を支援します。</p> <p>Point ②▶衣裳・メイク  ダンサーが身に着けている衣裳やメイク、小道具アイテムなど、一人一人全部違います。『さーかす』の個性豊かなキャラクターは「自分のお気に入りのキャラクターを見つける」、「登場人物に親しみを持って感情移入する」など、子供たちの興味に寄り添いながら「みんな違って、みんないい!」人間の多様性をも優しく鑑賞指導します。</p> <p>Point ③▶舞台美術(テント)  体育館の天井に届く高さまで空間全部を使って動くテントは子供たちの想像力を掻き立てます。実物を前に「ダンサーやスタッフのプロの仕事内容」、「舞台芸術の創造に絶対にかかせない一体感」までの鑑賞指導を行います。子供たちには驚きを持って舞台芸術の迫力と感動に出会ってもらいます。動く舞台美術(テント)を使ったダイナミックな空間表現は、この作品が17年間に渡り上演し続けている大きな要因の一つです。国際的に高く評価され今も招聘公演の話が止みません。</p> <p>Point ④▶音楽性  音楽とダンサーの動きがピッタリと合っている凄さと感動は、ダンスの最大の魅力です! 物語の場面展開、主人公の気持ちに寄り添いながら、昭和のポップス、サーカス・マーチ、クラシック音楽、現代音楽までの『さーかす』の幅広い音楽性をノリノリで味わってもらいます。</p> <p>Point ⑤▶物語  “物語”で“ダンス”を表現するところが作品の大きな特徴です。子供たちには、「次は何が起こるんだろう?」、「一郎はどうなっちゃうんだろう?」主人公の気持ちに寄り添いながら「言葉を使ってないのに物語がわかる!」自分自身の驚きと発見を通して作品を自分のものにしてもらいます。「言葉を必要としないダンス・舞踊への知識」、「体で表現する素晴らしさ」をしっかりと鑑賞支援します。</p> <p>【児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態】</p> <p>1) 事前ワークショップで覚えたダンスを舞台上で披露!  公演の前にダンサーとのリハーサルを行います(約40分)。代表児童・生徒は、事前ワークショップと本番当日のリハーサルを通じてダンサーとのコミュニケーションを十分に重ねることで、本番では、100%自信を持って元気に踊れるようになります。私たちの『さーかす』の一員となって踊ってもらいます! 鑑賞する児童・生徒たちも、クラスの友だちが舞台上に登場することで、作品をより身近に感じることができ、驚きと興奮に包まれたパフォーマンスを実現します!</p> <p>2) 本公演で使用する映像に出演!  事前ワークショップの際に本公演のフィナーレを飾る映像を撮影します。主役は子供たち。ミュージシャンのプロモーションビデオや映画の撮影編集をするプロのカメラマンが、事業全体を振り返る学校オリジナルの映像を製作します。※事前ワークショップで活躍した児童生徒のインタビューも収録。映像はDVD化し、大切な思い出として学校に寄贈します。</p> <p>3) 作品の中盤に先生も出演  舞台解説の川野真子との掛け合いで先生の魅力を引き出し、後半に向けての児童・生徒の鑑賞能力を絶大に引き上げて行きます。</p> <p>4) 地域で大切にしている文化を生かした演出  地域で古くから大切にされている祭囃子など、地域に特化したセッションをアレンジします。  例: 佐賀県唐津市では演出の一部に“唐津くんち”のお囃子を使用。</p> <p>5) 特典: プロの仕事に触れる・タネ明かし!  おしまいに舞台を作るために絶対にかかせない照明家、音響家、舞台スタッフなど、プロフェッショナルの技を実物の機材を使って一部披露します! 公演では絶対に見えない裏側の人間力にも触れてもらいます。</p>		



生きる  
ちから

喋らないのに物語がわかる!

体育館が劇場になった!

からだで表現するすばらしさ



文化芸術による子供育成推進事業（巡回公演）

（現代舞踊） ナチュラルダンステアトル

『さーかす』は、物語をダンスで表現する作品です。

主人公の〈一郎〉は、自分のやりたいことが見つからないで、  
毎日だらだら過ごしていました。

ある日、そんな一郎の前に〈昭和のサーカス団〉が現れます。

戦後の貧しい時代を一生懸命に生きたサーカス団が、  
今を生きる一郎の心に **生きるちから** を吹き込みます。

〈一郎〉の心の成長を描いた心温まる  
わくわくどきどきのエンターテインメント!

さー  
か  
す



（上演実績）

2005 年文化庁新進芸術家公演事業(山口県・広島県・佐賀県)

2006 年新国立劇場 DANCE EXHIBITION(新国立劇場/小劇場)

2008 年新国立劇場ダンス名作展(新国立劇場/小劇場)

2008 年 アメリカンダンスフェスティバル(北米/ノースカロライナ州)

2009 年ドイツ巡回公演(デュッセルドルフ・ミュンスター・フランクフルト・ポツダム)

2016 年-2021 年 文化庁巡回公演事業

2018 年 韓国招聘公演(ソンナムアートセンター)

2018 年 鳥取県教育関係職員互助会 公益事業公演





# 1 Workshop\*



# 2 Rehearsal\*



# 3 Onstage\*



子供たちが舞台上で踊るまでの体験を完全サポート！

## Workshop\*

### 1

#### ペットボトル・ダンス・ワークショップ

全国で5万人が体験するダンサーが開発した優れたダンス・ワークショップです。ダンスの知識や経験がなくても、ダンサーとのコミュニケーションを楽しみながら誰でも一緒に踊れるようになります！身体表現教育に裏打ちされた実践指導は必見です。

## Rehearsal\*

### 2

#### 舞台リハーサル

ワークショップで覚えたダンスを公演で披露してもらいます！ダンス・カンパニーの一員となって、本番前にリハーサルを行います。

## Onstage\*

### 3

#### 本番

「体育館が劇場になった！」感動と共に、「僕の舞台！私の舞台！」ノリノリで、がっつり踊れるところがナチュラル流！



#### 学校オリジナルの映像製作\*



事前ワークショップの際に本公演のフィナーレを飾る映像を撮影します。主役は子供たち。ミュージシャンのプロモーションビデオや映画の撮影編集をするプロのカメラマンが、事業全体を振り返る学校オリジナルの映像を製作します。※事前ワークショップで活躍した児童生徒のインタビューも収録。映像はDVD化し、大切な思い出として学校に寄贈します。